

謹賀新年

共創の町をめざして

新年あけましておめでとうございます。日頃より町政に対しご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。本年も皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが日本に上陸してから3年が経とうとしています。感染拡大の波は何度も繰り返され、いまだに収束の見通しは立

っていません。さらに昨年はロシアによるウクライナへの軍事侵攻が起きました。その影響により物



笠松町長
古田 聖人

価が上がり、暮らしを圧迫し続けています。

パンデミック、戦争、インフレと、世界が混とんとする中、地方を取り巻く状況も厳しさを増しています。しかし、見方を変えれば、激動の時代は、改革や飛躍のチャンスです。

私は今年も地域資源や強みを生かしたまちづくりを進めていきたいと思っています。目指すは、住んでいる人たちが愛着と誇りを感じ、「笠松」の名を聞いた人が憧れを抱く「笠松ブランド」の実現です。

それには町民の皆さんの協力が絶対に必要です。共に力を合わせ、知恵を絞り、未来を創り上げていく『共創』を旗印に頑張っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

ウィズコロナでの開かれた議会を目指して

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様方には、日頃より笠松町議会に対しまして深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2019年暮れに全世界に広がった新型コロナウイルスによるパンデミックも4回目の年明けを迎えました。昨年2月24日から始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻も10ヶ月目を迎えるようとしております。

この二つの出来事により、笠松町とそこに暮らす皆様も大きな影響を受けております。

議会でも新型コロナウイルスワクチン接種の推進や交付金による感染拡大防止の為の予算に関する議案、物価高騰対策に当てる予算に関

する議案など、積極的に対応してまいりました。

今年度笠松町議会では、より開かれた議会としての機能強化を図る為に「議会改革特別委員会」を設置し、来年度からの議会動画配信やSNSなどによる情報発信を検討しております。

本年も議会に対しましてご理解とご協力をお願いしつつ、町民皆様が安心して生活が出来ますことを祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。



笠松町議会議長
川島 功士